

MG2230 ダイアル式矯正ケーブルについて

1. ダイアル式矯正ケーブルの特徴

体幹装具装着時、適切な部位に矯正または締め付けを行うために使用します。部品本体より2本のケーブルが出ており、ダイアルを回すことでケーブルを巻き取ることができます。2つの部品を引っ掛け、ダイアルを回すことで簡単に装具を装着することが可能です。また2本のケーブルを均等に巻き取っていけるため、締め付けの力を均等に与えることができます。ダイアルとケーブルガイド2点の合計3点をV字状につなげることで、2方向の締め付け力を均一にし、姿勢の変化にも追従しやすくなります。

2. 使用者の利点・使用状況について

- 体幹が側弯する症例に対して適切な姿勢に矯正を行うために使用し、特に複数のベルトにより矯正効果を得る必要がある装具において、1つのダイアルで同時に均一な矯正力が発揮されるため、目的の矯正効果が得られやすくなります。
- 上肢に欠損や麻痺がありベルトでの締め付けが困難な症例において、ダイアル操作であれば締め付けが行える場合には使用が有効となります。
- 装具を衣類の下に装着しており衣類を脱ぐことができない状況において、食事等によって締め付けを調整する必要がある場合、衣類の上からでも調整が可能です。特に女性や思春期の学生等において、衣服の上からの調整は適切な調整を維持するために有効となります。

3. 支給対象者の例

- ダイアル式矯正ケーブルは装具脱着を容易にするため様々な使用者に利用可能ですが、公費支給の観点から上記利点を考慮して適応性が高い対象者を示します。
 - ・複数の方向に均一な矯正力が必要な症例
 - ・上肢の欠損や麻痺、巧緻性の問題でベルトでの装具装着が困難な症例
 - ・衣類の上から装着具合の調整が必要となる症例

4. 注意事項

- 適切な締め付け力で使用しないと身体を傷つけると共に部品の破損にもつながるため、使用者へ適切な使用方法の説明が必要です。
- ケーブルの摩耗は定期的にご確認ください。必要があり、摩耗の具合によっては部品交換が必要となります。